

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2019年6月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第605号

私は一九六七年に東京神学大学に入学しました。今から約五〇年前、日本基督教団の「戦争責任告白」が鈴木正久議長名で公表された年の春でした。その頃、各神学校の交流プログラム、インスターセミナリー・カンファレンス(略称「イン・セミ」)が活発に行われていました。神学校の枠を超えて、神学生たちの交流プログラムが自主的に運営されていたのです。

日本基督教団の各神学校だけでなく、覚えている限りでは、カトリック神学院、ルーテル神学校、聖公会神学院なども参加していたと思います。プログラムの中心は神学シンポジウムで、各神学校の看板教授たちが、実行委員会が設定した主題について発題し、刺激的な議論を交わしていました。また、親睦のために神学校対抗野球大会も行われていました。これらのプログラムは、各神学校の後援のもと、すべて神学生たちの自主的な運営によって実施されていきました。ですから、東京神学大学の場合も、学生自治会のもとにイン・セミ実行委員会が組織され、各神学校持

ち回り、毎年五月の連休を利用して一泊二日で開催されていたのです。このインセミで出会って結婚したカップルも何組もいますし、ずっと後年になって、NCCなどのエキユメニカルな場で再会し、旧交を暖めるといふ機会もありました。一九六〇年代の各神学校には、現在以上にエキユメニカルな交流があった

神学生交流プログラム一〇年の歩み



戒能 信生

関東活動センター運営委員長

のです。

一九七〇年のインセミの当番校は同志社神学部でした。それがその当時の大学紛争のあおりを受けて、中止されてしまったのです。以来、インセミは解体され、現在に至っています。

今から一二年前、日本クリスチャン・アカデミーの東西活動センターの合同研修会が

降は関東活動センターの責任において、毎年三月に二泊三日の日程でこのプログラムが実施され、今年で第一〇回を迎えました(通算の参加神学生は計一五〇名を越えます)。各教派とも、教勢の停滞や様々な困難の中で内向きになっ

た。その際、今はなきインセミに代わって、神学生交流プログラムを提案したのです。幸いにも大方の賛同を得て、以来、最初の内は関東活動センターと関西活動センターが交互に責任を負う仕方、第五回以

として少なからぬ意義があると考えて来ました。第一回の講師としてお招きした荒井献先生が、その感想に「このところこの国のキリスト教界について悲観的な印象を懐いていたが、この神学生交流プログラムに参加して、久しぶりに希望のようなものを感じた」と言われたのが印象的です。

私は、関東活動センター運営委員長として、校長をお願いしてきた関田寛雄先生と共に、この一〇年間、神学生交流プログラムの責任を負って来ましたが、世代交代で来年からは次の担当者に交代します。

次回からは新校長・神田健次先生(関西学院神学部名誉教授)のもと、新しいスタッフによってこのプログラムはさらに継続されて行きます。その歩みと、参加される神学生たちに心からのエールを送ります。

なお、第一回から第一〇回までの講師の主題講演を編集し直して、近く新教出版社から刊行の予定です。ご期待下さい。

(日本基督教団千代田教会牧師)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

2018年度事業報告(総括)

当財団の2018年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。

②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

①当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。

②当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

①関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。

②機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計

画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事业、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

4. 財団の財政健全化

日本キリスト教会館関連資産の運用益及び関西セミナーハウス収益の一部を原資として、2018年から10年で運用基金を1億円の水準まで戻す財団財政の健全化の計画を立てた。

貸借対照表

2019年3月31日現在

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産	30,973,812	29,040,918	1,932,894
2. 固定資産			
(1)基本財産	12,000,000	12,000,000	0
(2)特定資産	56,968,414	49,724,604	7,243,810
(3)その他固定資産	321,012,472	331,972,480	△ 10,960,008
固定資産合計	389,980,886	393,697,084	△ 3,716,198
資産合計	420,954,698	422,738,002	△ 1,783,304
II 負債の部			
1. 流動負債	10,533,648	10,885,534	△ 351,886
2. 固定負債	20,045,028	21,713,828	△ 1,668,800
負債合計	30,578,676	32,599,362	△ 2,020,686
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	390,376,022	390,138,640	237,382
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(36,923,386)	(28,010,776)	(8,912,610)
正味財産合計	390,376,022	390,138,640	237,382
負債及び正味財産合計	420,954,698	422,738,002	△ 1,783,304

関東活動センター

●2019年度 関東フォーラム今日的課題II
「ジャーナリストがその本音を語る」第1回
菅原伸郎さんに聞く

「最近の宗教報道に想う」

元朝日新聞論説委員、大阪本社学芸部長、「こころ」編集長、現在「公益社団法人「在家仏教協会」理事長

菅原 伸郎さん
2019年6月28日(金)

会場 東京・西早稲田カフェスナック「VIA」



菅原伸郎さんは1941年生まれ。早稲田大学時代は演劇サークルに熱心で、いざ就職となつて、在学中の学業成績を問われないのは報道関係だと聞き、試験日の重ならないところを数社見つけて受験、結局、朝日新聞社に記者職として採用されたそうだ。

朝日ではまず支局に出される。最初は山形支局、続いて松江支局、大阪本社、仙台支局、東京本社と続き、また大阪本社に戻り、学芸部で映画

を担当した。取材で出かけた京都・太秦の撮影所のことを印象深く思い出す、と言われる。大学時代の演劇熱が今なお冷めない、ということだろう。

初めは言いなりだった異端だが、やがて本人にいくつか案を示して選ばせる日が来る。現役記者生活も終わりが近づいているのを感じる時だ。菅原さんは「こころ」のページ編集長になった。部下3人。別の部署を選んできたのに、100人もの大所帯だったのか、と思うこともあった。

記者として長年経験を積んではいても、編集長として、新聞が「こころ」を取り上げてページを作るとはどういうことか、文化面や学芸面がある中で、「こころ」のページ

独自の企画をどう打ち出さか、とあれこれ考えた。「こころの悩み」ということではどうか、宗教界の間違いを暴き出すのはどうか、などという懸念が頭をかすめもしたそうだ。

ある時、先輩のひとりから「仏教界における女性差別」を取り上げては、と言われた。当たって見ると、「女性差別」があるどころではない。仏教界は「女性」自体を視野に入れていないのだということにも、と気づかされた。

「坊守」(ぼうもり)という言葉がある。寺や坊舎の番人のことをいうのが本来の意味。浄土真宗では伝統的に住職の妻のことを「坊守」と呼ぶ。その「坊守」たちが「女性差別」反対に立ち上がったという話も分かった、と話された。

そのような日々を過ごすうちに定年を迎え、2年間を囁託として過ごした菅原さんは、2003年退社。その後、東京医療保険大学教授、早稲田大、東京女子大、立教大などの非常勤講師を経て、2017年からは公益社団法人「在家仏教協会」理事長を務められている。

「宗教」と「ジャーナリズム」には矛盾がある、と見る菅原さん。宗教を愚かなもの、怪しいもの、と「ジャーナリズム」は決めつけるが、ジャーナリストの側にも、実存的なものを学ぶという勉強が足りないのでは、と言われる。人間そのものへの探求が欠けている、と。

「最近の宗教報道に想う」の具体例を、と問われて、菅原さんが「もう現役ではないから」と前置きしながら語られたのは、「宗教」と「ジャーナリズム」と並べて見ること自体に、矛盾を感じる、と。

「ジャーナリズム」には、「宗教」を初めから愚かなもの、怪しいものと決めつけてかかる傾向がある。そうなる、「ジャーナリズム」は宗教界が抱える「間違い」を暴き出すことに熱心になりがち。ただそれでは宗教自体を否定することに傾きやすい、と感じられるそうだ。

それは、「ジャーナリズム」に携わる人たちには、実存的なものを学ぶことへの関心が薄いと言うより、「ジャーナリズム」自体が「実存」などに無関心な存在なのではないだろうか。「人間」、さらには

「弱い人間」それ自体を探索するという発想が「ジャーナリズム」にはないのでないか、と思われるようだ。

今日、宗教界に身を置くものとして、キリスト教会を見ると、そこに集まっている人が時代遅れに見える、と語る菅原さん。

質疑応答の時間でも、話題はそこに集中した。

「教会に高齢者が多いことは確か。それで教会が時代遅れと見られるのだろう」「教会の形式や内容が時代遅れと言われても、それを欲する人が集まって来るのを簡単に問題視は出来ないのではないか」「若い人たちがキリスト教に関心を抱いても、教会を訪ねようとはまず思わないだろう。その若者を引き付けることは出来ないことだし、引き付けようとも思わない」などの感想が参会者から述べられた。

さらに、キリスト教学校元院長による著作・論文の捏造、「聖書協会共同訳」が抱える課題などにまで話が広がった。

報告II 郡山千里(関東活動センター運営委員、世界キリスト教情報 主宰)

プログラム案内

◆関東活動センター

■2019年度関東フォーラム 宗教対話I 「日本キリスト教史を読む」Ⅲ (昭和篇全7回)

講師: 戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

第3回「木俣敏 農村伝道と伝道圏伝道に尽くした生涯」

日時: 7月11日(木)14:00~16:00

第4回「戦争責任告白を担った鈴木正久の生涯と信仰」

日時: 9月12日(木)14:00~16:00

会場: 早稲田奉仕園セミナーハウス 101号室

参加費: 1回 500円

■2019年度聖書を読む講座

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」(第2期)(全10回)

講師: 山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時: 2019年4月~2020年2月(8月休会)

第2火曜 18:30~20:00

④7月9日、⑤9月10日

会場: 早稲田奉仕園スコットホール 222

参加費: 1,200円/学生 500円

共催: 早稲田奉仕園

■2019年度研究会

「さらに豊かな礼拝のために~言葉を届けるトレーニング」(全10回)

講師: 友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時: 2019年5月~2020年3月

財団本部 http://www.academy-nippon.com

関東活動センター http://www.academy-tokyo.com

関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/

関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本キリスト教団・アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

TEL 075-711-2147 FAX 075-701-5256

関東活動センター 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

(8月休会) 第3火曜 18:00~20:00

③7月16日、④9月17日

会場: 日本基督教団巣鴨ときわ教会

参加費: 1回 1,200円

◆関西セミナーハウス

■月釜 清心会

日時: 2019年10月13日(7~9月休会)

日曜9:00~15:00 受付

於: 関西セミナーハウス

年会費: 4,000円、臨時会費 1,000円

◆関西セミナーハウス活動センター

■2019年度お茶のこころと宗教のこころ

「聖書をいっしょに読みましょう」(全8回)

座長: 榎本 栄次さん(日本基督教団牧師)

日時: 2019年4月~12月(8月除く)第1または第2月曜

13:30~16:30

④7月1日、⑤9月2日

会場: 関西セミナーハウス

参加費: 1回 1,500円 学生 500円(抹茶含む)

定員: 20名

■2019年度開発教育セミナー

第2回「パレスチナ問題はなぜ解決しないのか?~その始まりとこれからを考える~」

講師: 役重 善洋さん(パレスチナの平和を考える会事務局長)

日時: 2019年7月20日(土)

16:00~21日(日)12:00

第3回「多様性が生きる社会~人権としての言語から考える~」

講師: 木村 護郎(クリストフさん(上智大学外国語学部ドイツ語学科教授))

日時: 2019年9月7日(土) 16:00~8日(日)12:00

会場: 関西セミナーハウス

参加費: 10,500円(1泊2食込) 京都市宿泊税 200円別

■2019年度修学院フォーラム「社会<平和を考える2>

第2回「憲法9条と自衛隊一両立か対立か」

講師: 松竹 伸幸さん(編集者・ジャーナリスト、「自衛隊を活かす会」事務局長)

日時: 2019年7月27日(土) 13:30~17:30

会場: 関西セミナーハウス

参加費: 2,300円 学生 1,000円(コーヒー付)

<平和を考える3>

第3回「日米地位協定と九条、そして自衛隊」

講師: 伊勢崎 賢治さん(東京外国語大学大学院教授)

日時: 2019年8月31日(土) 13:30~17:30

会場: 関西セミナーハウス

参加費: 2,300円 学生 1,000円(コーヒー付)

賛助会費・寄付金報告

2019年5月1日~5月31日 (順不同・敬称略)

◆関西セミナーハウス

寄付金 武藤 高司 10,000

牛尾 宣夫 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費 齊藤 洋子 5,000

松岡 蓉子 5,000

医療法人わたなベクリニック 10,000

日野 多栄子 3,000

藤倉 寿美子 3,000

松田 光代 5,000

殿村 元一 5,000

相浦 和生 3,000

株式会社こころ 10,000

田辺 信子 5,000

陶村 世佳子 5,000

東 千代 5,000

織田 雪江 5,000

岡山 孝太郎 5,000

湖月 美和 5,000

佐藤 友紀 5,000

山岡 義生 5,000

宇野 稔 5,000

上田 圭子 5,000

橘 俣子 60,000

多木 秀雄 5,000

菅 恒敏 5,000

比嘉 美智子 5,000

竹中 百合子 5,000

佐々木 紘児 5,000

寄付金

川北 かおり 10,000

藤田 恭子 5,000

林 律 10,000

高橋 望 1,000

松本 圭子 5,000

山添 みどり 3,000

楠葉コイノニア教会 5,000

酒井 哲雄 3,000

NPO 法人沢内伯楽 5,000

東 千代 1,000

山崎 和明 2,520

内藤 弘子 10,000

坪野 えり子 3,000

山岡 義生 5,000

家形 日出 10,000

堤 龍春 5,000

北野 宗香 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。